

開示事項(※1)	SDGsとの対応関係(※2)	ページ	CONTENTS
<b>GRI 2: 一般開示項目 2021</b>			
<b>1. 組織と報告実務</b>			
2-1	組織の詳細	05	組織のプロフィール
2-2	組織のサステナビリティ報告の対象となる事業体	37-38	編集方針について
2-3	報告期間、報告頻度、連絡先	—	背表紙(表4)
2-4	情報の修正・訂正記述	25	廃棄物/資源循環
2-5	外部保証	37-38	編集方針について
<b>2. 活動と労働者</b>			
2-6	活動、バリューチェーン、その他の取引関係	05, 06	組織のプロフィール、サステナビリティ推進体制
2-7	従業員	8 10	
<b>3. ガバナンス</b>			
2-9	ガバナンスの構造と構成	5 16	ガバナンス・コンプライアンスの強化
2-14	サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	37-38	編集方針について
2-16	重大な懸念事項の伝達		
2-18	最高ガバナンス機関のパフォーマンス評価	09-10	ガバナンス・コンプライアンスの強化
<b>4. 戦略、方針、実務慣行</b>			
2-22	持続可能な発展に向けた戦略に関する声明	01-02	トップメッセージ
2-23	方針声明	16	07, 08 基本理念・戦略、サステナビリティに関する方針・施策
2-24	方針声明の実践		03-04, 06, 13-18, 19, 20, 21, 35 北海道大学2023ハイライト、サステナビリティ推進体制、サステナビリティ活動、採択・認定・プロジェクト、研究、教育、研修と教育
2-25	マイナスのインパクトの是正プロセス	09-10	ガバナンス・コンプライアンスの強化
2-26	助言を求める制度および懸念を提起する制度	16	21 ステークホルダー・エンゲージメント
2-27	法規制遵守	30	環境コンプライアンス
<b>5. ステークホルダー・エンゲージメント</b>			
2-29	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ	21, 35	ステークホルダー・エンゲージメント、研修と教育
<b>GRI 3: マテリアルな項目 2021</b>			
3-3	マテリアルな項目のマネジメント	11-12	サステナブルキャンパスのマネジメント手法
<b>項目別スタンダード 200シリーズ(経済)</b>			
<b>GRI 201: 経済パフォーマンス 2016</b>			
201-1	創出、分配した直接的経済価値	8 9	31 2023年度の財務構造と収支の推移
201-4	政府から受けた資金援助		
<b>GRI 202: 地域経済でのプレゼンス 2016</b>			
<b>GRI 203: 間接的な経済的インパクト 2016</b>			
203-1	インフラ投資および支援サービス	5 9 11	13-18, 32, 33 サステナビリティ活動、地域への貢献、地域との連携、インフラ投資と調達に関する取り組み
203-2	著しい間接的な経済的インパクト	1 3 8	03-04, 13-18, 19, 32 北海道大学2023ハイライト、サステナビリティ活動、採択・認定・プロジェクト、地域への貢献、地域との連携
<b>GRI 204: 調達慣行 2016</b>			

開示事項(※1)	SDGsとの対応関係(※2)	ページ	CONTENTS
<b>GRI 205: 腐敗防止 2016</b>			
205-2 腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	16	09-10	ガバナンス・コンプライアンスの強化
<b>GRI 206: 反競争的行為 2016</b>			
<b>GRI 207: 税金 2019</b>			
<b>項目別スタンダード 300シリーズ(環境)</b>			
<b>GRI 301: 原材料 2016</b>			
301-1 使用原材料の重量または体積	8 12	22	環境への取り組み
<b>GRI 302: エネルギー 2016</b>			
302-1 組織内のエネルギー消費量	7 8 12 13	22, 23	環境への取り組み、エネルギー消費量と再生可能エネルギー
302-3 エネルギー原単位	7 8 12 13	23	エネルギー消費量と再生可能エネルギー
302-4 エネルギー消費量の削減	7 8 12 13	27	グリーントランスフォーメーション(GX)の推進
302-5 製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	7 8 12 13		
<b>GRI 303: 水と廃水 2018</b>			
303-2 排水に関連するインパクトのマネジメント	6	28, 30	水資源の取り組み、環境コンプライアンス
303-3 取水	6	22, 26	環境への取り組み、水使用量
303-4 排水	6		
303-5 水消費	6		
<b>GRI 304: 生物多様性 2016</b>			
304-1 保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、貸借、管理している事業サイト	6 14 15	03-04, 26	北海道大学2023/ハイライト、生物多様性
304-4 事業の影響を受ける地域に生息するIUCNレッドリストならびに国内保全種リスト対象の生物種	6 14 15	29	生物多様性の保全に関する取り組み
<b>GRI 305: 大気への排出 2016</b>			
305-1 直接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ1)	3 12 13 14 15	22, 24	環境への取り組み、温室効果ガス排出とカーボンニュートラルの取り組み
305-2 間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ2)	3 12 13 14 15		
305-4 温室効果ガス(GHG)排出原単位	13 14 15	24, 27	温室効果ガス排出とカーボンニュートラルの取り組み、グリーントランスフォーメーション(GX)の推進
305-5 温室効果ガス(GHG)排出量の削減	13 14 15		
<b>GRI 306: 廃棄物 2020</b>			
306-1 廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト	3 6 11 12	22, 30	環境への取り組み、環境コンプライアンス
306-2 廃棄物関連の著しいインパクトの管理	3 6 8 11 12	28, 30	ごみ削減・資源循環の取り組み、環境コンプライアンス
306-3 発生した廃棄物	3 6 11 12 15	25	廃棄物/資源循環
306-5 処分された廃棄物	3 6 11 12 15		
<b>GRI 308: サプライヤーの環境面のアセスメント 2016</b>			
308-1 環境基準により選定した新規サプライヤー		33	インフラ投資と調達に関する取り組み

開示事項(※1)	SDGsとの対応関係(※2)	ページ	CONTENTS
<b>項目別スタンダード 400シリーズ(社会項目)</b>			
<b>GRI 401: 雇用 2016</b>			
<b>GRI 402: 労使関係 2016</b>			
<b>GRI 403: 労働安全衛生 2018</b>			
403-1	労働安全衛生マネジメントシステム	8	35 安全衛生
403-3	労働衛生サービス	8	
403-4	労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	8 16	
403-5	労働安全衛生に関する労働者研修	8	
<b>GRI 404: 研修と教育 2016</b>			
404-2	従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	8	13-18, 21, 35 サステナビリティ活動、教育、研修と教育
<b>GRI 405: ダイバーシティと機械均等 2016</b>			
405-1	ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	5 8	34 本学構成員の性別の推移
<b>GRI 406: 非差別 2016</b>			
406-1	差別事例と実施した是正措置	5 8	36 ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン(DEI)/アイヌ民族
<b>GRI 407: 結社の自由と団体交渉 2016</b>			
<b>GRI 408: 児童労働 2016</b>			
<b>GRI 409: 強制労働 2016</b>			
<b>GRI 410: 保安慣行 2016</b>			
<b>GRI 411: 先住民族の権利 2016</b>			
<b>GRI 413: 地域コミュニティ 2016</b>			
413-1	地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所		19, 32, 35 採択・認定・プロジェクト、地域への貢献、地域との連携、社会連携
<b>GRI 414: サプライヤーの社会面のアセスメント 2016</b>			
414-1	社会的基準により選定した新規サプライヤー	5 8 16	33 インフラ投資と調達に関する取り組み
<b>GRI 415: 公共政策 2016</b>			
<b>GRI 416: 顧客の安全衛生 2016</b>			
<b>GRI 417: マーケティングとラベリング 2016</b>			
<b>GRI 418: 顧客プライバシー 2016</b>			

※1 GRIスタンダードの開示事項の内、本レポートで扱っていない項目は本表から省略しております。

※2 GRIスタンダードの開示事項と対応関係があるとされるSDGsのゴールを数字で記載しております。  
参考文献) Linking the SDGs and the GRI Standards (GRI, 2022)